

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第42回

長野代協

各支部・委員会の活動の成果として 日本代協の3冠を達成

長野代協は現在、会員1リスクに的確に対応する数205店、募集人人数のために、実際に起きた1782名の会員で運営中小企業のサイバー被害を考慮しながら、自社の協として設立し、68年のセキリティ状況の実態を効果的に把握する手法と効果的なセキリティ対策について学びました。代協会員のみなさん、ご契約者や、一般法人の方にもご参加いただきたくを目標に、松本商工会議所広報紙に折込チラシを入れるなど、告知方法にも工夫をしました。

飯田・伊那支部では本年1月に保険ジャーナリストの中崎章夫氏をお迎えし、「保険代理店のデジタル化」と題し、DX時代の求められる代理店の新たな役割についてリアルでの講演を行っていただき、保険会社社員の皆様と懇親を深めることができました。

委員会の活動においては、組織委員会と教育委員会合同で、「鬼の成島検査」を開催しました。

こうした各支部・委員会の活動の成果として、日本代協の3冠を達成することができました。今後も一丸となり、長野代協の使命を全うしてまいります。

長野代協は現在、会員数205店、募集人人数1782名の会員で運営され、昭和30年に中信代協として設立し、68年の歴史を持っています。また、長野県内は広いこともあり、6支部で構成されています。

ここ数年はコロナ禍により、代協活動も思うに任せない状況でしたが、そのような中でも各支部・委員会ともに工夫を凝らし2022年度も活動してまいりました。

北信・東信支部では昨年11月に渋温泉・春蘭の宿さかえやおもてなしスタッフである堀内勇斗講師より「社員が自主的に行動するコツ」旅館甲子園と連覇への道のり」をテーマにセミナーをリアルで開催しました。

中信・諏訪支部は、サイバーリスク対策オンラインセミナーを昨年10月に株式会社松本義和講師を迎え、多様化するサイバ



支部セミナーのもよう



2022年度定時総会のもよう

(長野代協会長 福嶋利行)